

# 業績ハイライト／きらやかホールディングス（連結）

Kirayaka Holdings

## 主要な経営指標

### ■きらやかホールディングス連結

(単位：百万円)

	平成19年9月期	平成20年9月期
連結経常収益	21,239	15,902
連結経常利益	1,379	△3,808
連結中間純利益	137	△4,254
連結純資産額	37,574	30,493
連結総資産額	1,215,734	1,165,770
1株当たり純資産額	234.64円	179.21円
1株当たり中間純利益	0.95円	△33.74円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	—	—
連結自己資本比率（国内基準）	8.32%	7.42%

- (注) 1. 当社及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。  
 2. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。  
 3. 連結自己資本比率（国内基準）は、銀行法第52条の25の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

## 営業の概況

### ■収益の状況

きらやかホールディングス連結の経常収益は、子会社でありましたきらやかりース（株）の株式を譲渡したことにより同社が連結子会社でなくなったことや、その他経常収益が減少（前年度の睡眠預金に係る会計処理の変更に伴う影響）したこと等により、前中間連結会計期間比53億37百万円減少の159億2百万円となりました。

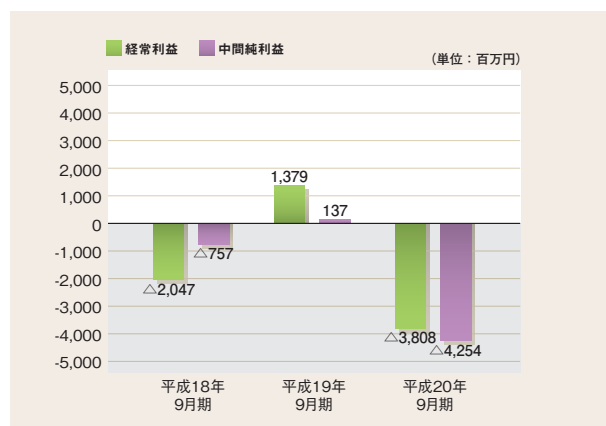
一方、連結経常費用は、資産健全化へ向けての不良債権処理費用の増加等がありましたが、効率化を進め営業経費の削減に努めました結果、前中間連結会計期間比1億48百万円減少の197億11百万円となりました。

その結果、連結経常損失は38億8百万円、連結中間純損失は、42億54百万円となりました。

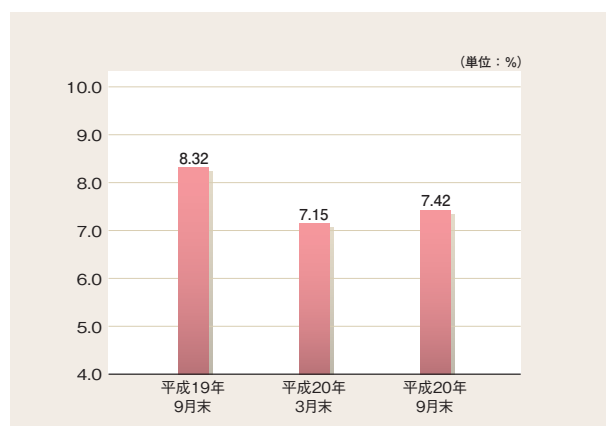
### ■自己資本比率

きらやかホールディングス連結の自己資本比率（国内基準）につきましては、7.42%となりました。

## 経常利益・中間純利益の状況



## 自己資本比率の状況



※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 ※連結自己資本比率（国内基準）は、銀行法第52条の25の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

### 【用語解説】

#### ■コア業務純益

「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益の事を指します。

#### ■経常利益

「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

#### ■当期純利益

「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

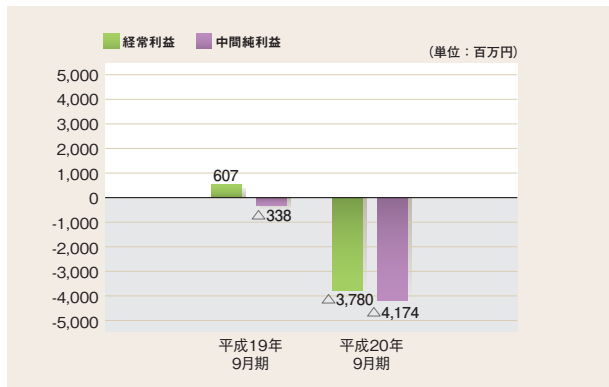
#### ■自己資本比率

総資本に占める自己資本の割合を指し、銀行経営の健全性や信頼度を示す指標のひとつです。

# 業績ハイライト／きらやか銀行(単体)

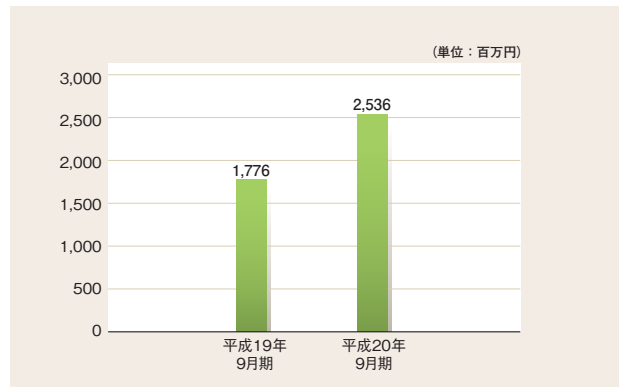
Kirayaka Bank

## 経常利益・中間純利益の状況



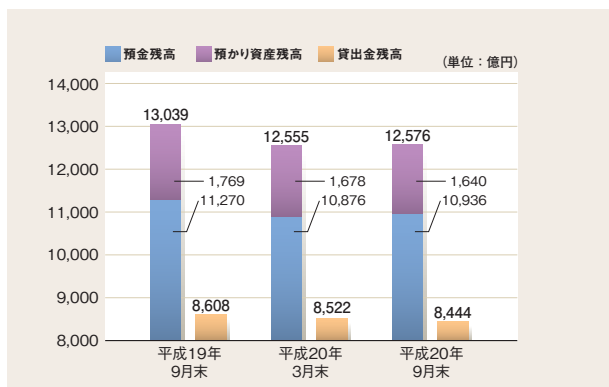
貸出資産の健全化を目的とした不良債権処理費用の増加や、東京株式市場の大幅な下落の影響による保有株式等の減損費用の計上等により、3,780百万円の経常損失となりました。また、前記の理由に加え、店舗統廃合に伴う減損費用の計上等により、4,174百万円の中間純損失となりました。

## コア業務純益の状況



合併後1年が経過し店舗の統廃合等、業務の効率化の効果により経費が大幅に減少したことにより、銀行の本業である資金収支や役務手数料収支等の利益を表しますコア業務純益は、前年比760百万円増加し2,536百万円となりました。

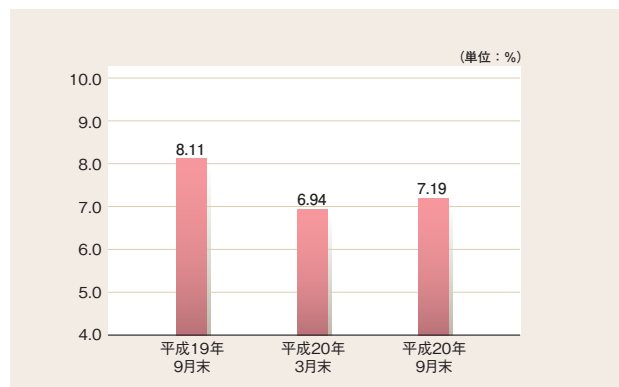
## 預金+預かり資産・貸出金の状況



預金+預かり資産残高につきましては、株式市場の低迷による投資信託販売の減少および基準価額の下落に伴う残高の減少等がありましたが、前年度末比21億円の増加となりました。

貸出金残高につきましては、資金需要の低迷により法人向け貸出が減少したことから、前年度末比77億円の減少となりました。

## 自己資本比率の状況



自己資本比率は、前年度末比0.25ポイント上昇し、7.19%となりました。

※平成19年9月期については、山形しあわせ銀行の閉鎖決算(19年4月1日から19年5月6日まで)を合算しております。  
 ※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 ※預金には譲渡性預金を含みません。  
 ※単体自己資本比率(国内基準)は、銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。  
 ※決算の詳細につきましては、きらやか銀行ホームページ(<http://www.kirayaka.co.jp/>)よりご覧いただけます。